

一九八〇年

四柳嘉章「能登・穴水盆地における中世遺跡群の調査」(信濃)

第三三卷第四号)

一九八一年
(四柳嘉章)

木簡研究創刊号

岸 俊男

創刊の辞

一九七八年出土の木簡

概要 平城宮跡 藤原宮跡 紀寺跡 長岡宮・京跡 平安京

西市跡 平安京左京八条三坊跡 吉田南遺跡 下郡遺跡 小

判田遺跡 城山遺跡 伊場遺跡 二之宮遺跡 御子ヶ谷遺跡

平形遺跡 城輪柵遺跡 堂の前遺跡 秋田城跡 草戸千軒町

遺跡 尾道市街地遺跡 長門國府周辺遺跡 三宅廃寺

一九七七年以前出土の木簡(一)

柚井遺跡 払田柵跡 平城宮跡(第五次・第七次) 正倉院伝

中国簡牘研究の現状

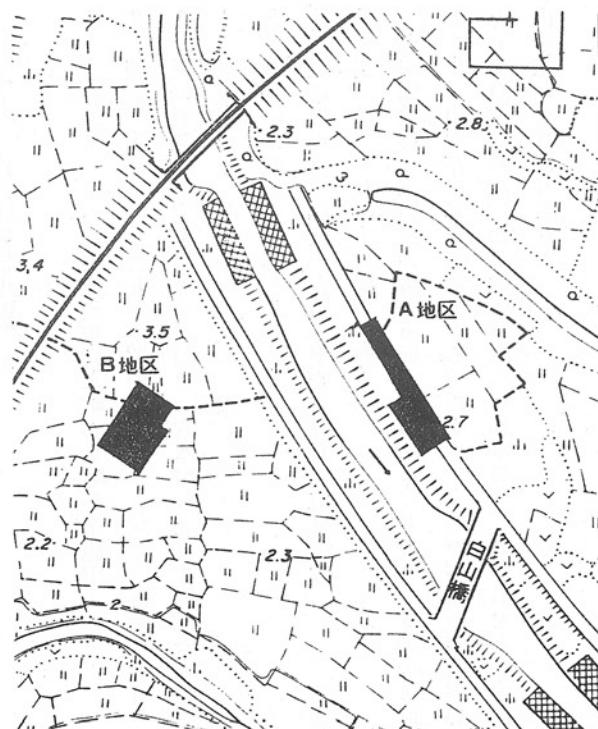
東北地方出土の木簡について

長岡京木簡と太政官厨家

藤原宮跡出土の官奴婢関係木簡について
記念講演(M・ローウェ)要旨

木簡第一号発見のころ(田中琢)彙報

価額 三〇〇〇円 一千四〇〇円



白山橋遺跡の立地